

LIGHT BREEZE  
IS BLOWING

AND THERE ARE MILLIONS  
OF SUGAR HERONS  
ALL AROUND



千葉大学文学部  
企画展

# ニキータ・アレクセーエフ 岸辺の夜 展

ロシア現代美術を代表するアーティスト、ニキータ・アレクセーエフの日本初の個展を、千葉大学で開催します。本展のために制作された新作ドローイングが、世界で初公開されます。

日本文化に造詣の深いアレクセーエフが、宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』をはじめ、信州の「箒木」伝説、『源氏物語』から多和田葉子にいたる日本文学に触発されて制作した作品で、巻物と屏風で構成されています。それと同時に、ロシア、アメリカの詩やロックの歌詞も引用し、世界文化の広がりを感じさせる作品になっています。展覧会の企画、準備、運営は、千葉大学文学部の「スラヴ文化論演習」受講生が中心になって行い、会期中、展覧会解説なども担当します。

2017.6.8 (木) - 6.28 (水) 10:30-18:00

ただし6/8は12:30から、6/28は13:00まで (入場無料)

千葉大学附属図書館本館/アカデミック・リンク・センター N棟1階  
オープニング (作家挨拶) 6/8 (木) 12:30~ (予約不要)

主催：千葉大学文学部 共催：GALERIE IRAGUI

千葉大学 西千葉キャンパス 千葉市稲毛区弥生町1-22



## 【ニキータ・アレクセーエフ略歴】

Nikita Alexeev / Никита Алексеев

1953年、モスクワ生まれ。芸術家と交流の深かった両親の影響で、ソ連非公認芸術家ドミートリー・クラスノペフツェフ、オスカル・ラビン、アナトーリー・ズヴェーレフらを早くから知り、自分も美術の道を志す。

1964年から76年にかけて、スリコフ記念美術大学附属中学校、1905年記念美術学校、印刷芸術大学等で学んだ。1969年に詩人で芸術家のアンドレイ・モナスティルスキー、レフ・ルビンシュテインらと知り合い、美術、ジョン・ケイジなどの現代音楽、現代詩、禅や仏教をはじめとする東洋文化への関心を共有し、アンダーグラウンドの芸術家グループを形成した。1970年代初頭には、イリヤ・カバコフらとも交流を重ねた。

1970年代半ばから、モナスティルスキー、ニコライ・パニコフらと共に、ソ連体制下の管理された都市空間を離れて郊外でパフォーマンスを行う〈集団行為〉の活動を展開。

1982年から84年にかけてモスクワの自宅のワンルーム・マンションをインスタレーションに変えるグループ展を開催し、それを〈APTART〉(〈Apartment〉と〈Art〉から成る造語)と名づけた。アレクセーエフの〈APTART〉は、ソ連の非公認作家が居住空間でしか作品を展示できないという状況に焦点を当てた政治的メッセージ性を持つもので、〈集団行為〉とは別の方法で都市空間の統制を問題化するアクションだった。

1987年にフランスに移住するが、1993年に帰国。ギリシャ、モンテネグロ、イタリアなどのレジデンス先やモスクワで、詩のような断片的なテキストをかきこんだ水彩画、アクリル画の連作を多数制作している。

創作テーマは多岐に渡るが、代表作に、日本の伝承「筈木」に基づいた連作ドローイングがある。ソ連では1960-80年代にかけて日本文化が一大ブームとなり、多くのソ連人が日本への「精神的な亡命」を過酷な日常を乗り切る手段としたが、アレクセーエフ氏も日本文化を深く愛し、自伝的著書『記憶の連なり』(モスクワ、新文学展望社、2008年)等にも日本の古典・宗教・文化・伝承についての言及が多数見られる。

2016年に初の来日を果たし、2017年6月には、北アルプス国際芸術祭(長野県大町市、6月4日-7月30日)に参加し、千葉大学で日本初の個展を開催する。

## 【〈岸辺の夜〉関連イベント】

6/14(水) 13:00-14:00

公開レクチャー「ニキータ・アレクセーエフの芸術とロシア現代芸術」

講師：鴻野わか菜(千葉大学・人文科学研究院・准教授)

6/20(火) 12:10-12:40

公開レクチャー あかりんアワー

「南極で美術は可能か? 第1回南極ビエンナーレに参加して」

講師：鴻野わか菜(千葉大学アカデミック・リンク・センター主催)

6/21(水) 12:50-14:15

公開レクチャー「協働で生まれる景色 ~南極から瀬戸内まで、所作のコミュニケーション~」

講師：五十嵐靖晃(作家)

現代アーティストの五十嵐靖晃氏をお招きし、北アルプス国際芸術祭で発表された新作や、2017年3月に参加された第1回南極ビエンナーレ、瀬戸内国際芸術祭2016、TURNなどでのプロジェクトについて、お話を伺います。

場所：千葉大学附属図書館本館/アカデミック・リンク・センター N棟1階 プレゼンテーションスペース  
(予約不要、入場無料)

## 【千葉大学附属図書館アクセス】

千葉大学西千葉キャンパス 千葉市稲毛区弥生町1-22

(JR西千葉駅より西千葉キャンパス南門まで徒歩約2分/京成みどり台駅より西千葉キャンパス正門まで徒歩約7分)

## 【本展覧会についての問い合わせ先】

鴻野わか菜(千葉大学人文科学研究院・准教授) メール kono@chiba-u.jp

